3次元眼底像撮影装置

3D OCT-1 (Type: Maestro2)

TOPCON Healthcare

SEEING EYE HEALTH DIFFERENTLY

Automated OCT/ Fundus Camera, now with OCTA

特徴

- 指先でタッチするだけ、左右眼オート撮影
- 充実の解析機能とわかりやすいレポート表示
- 多彩な撮影機能・撮影アシスト機能
- 明瞭な OCT &カラー眼底像
- シンプルなネットワークソリューション
- フレキシブルレイアウト
- OCT Angiography 撮影機能

QR コードを読み込むと Maestro2 の製品デモ動画がご覧頂けます

指先でタッチするだけ、左右眼オート撮影

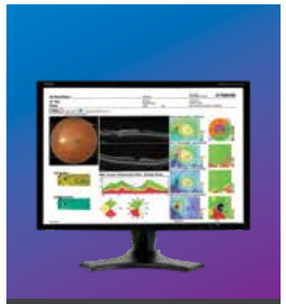
オート撮影 *

タッチパネルに表示される撮影アイコンをタッチし、あとは「Capture」アイコンをタッチするだけで、
アライメント・フォーカス・撮影までを全て自動で行います。また、レポートもワンクリックで表示できます。

Step 1
撮影アイコンを選択

Step 2
あご受けを調節し
「Capture」アイコンを
タッチするだけ

Step 3
撮影結果表示



Step 4
レポートもワンクリック表示

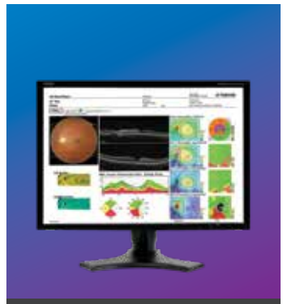
セミオート撮影

簡単なアライメント操作によるセミオート撮影も搭載しており、検者の任意のタイミングで撮影することが可能です。
オート撮影が困難な患者の場合でも、スムーズに撮影することができます。

Step 1
撮影アイコンを選択

Step 2
あご受けを調節し
「Capture」アイコンを
タッチするだけ

Step 3
マニュアルモードで
調整して撮影



Step 4
レポートもワンクリック表示

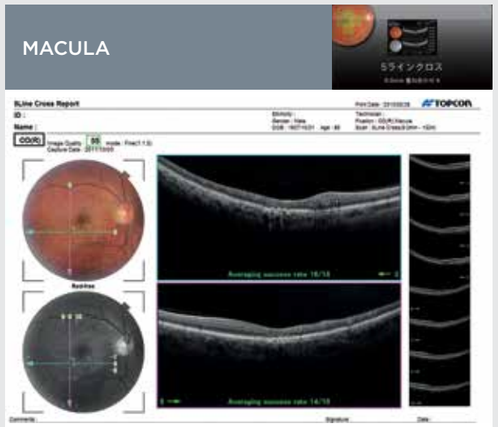
前眼部撮影

付属品の前眼部用アタッチメントを使用すると、前眼部撮影が可能です。

前眼部用アタッチメント

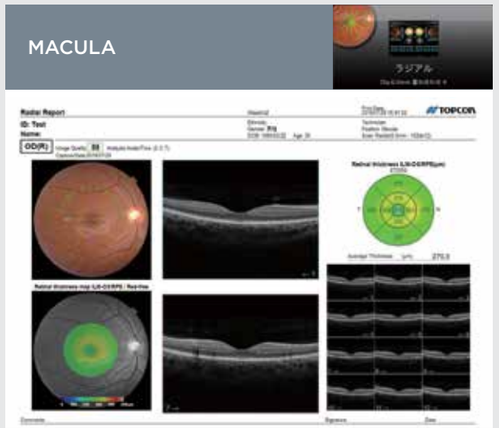
* 被検眼によってはオート機能が作動しない場合があります。

充実の解析機能



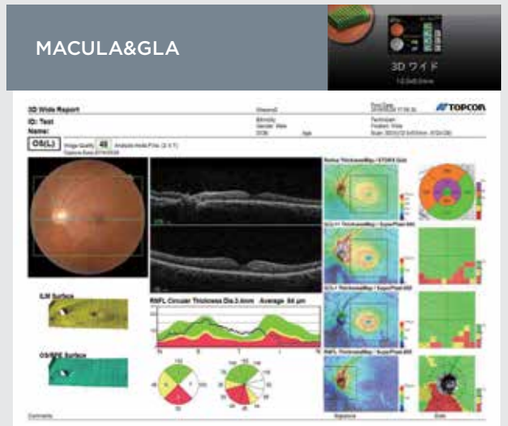
5 ラインクロススキャン

水平、垂直の断層像を 5 本ずつ撮影します。
レポートには 10 枚の断層像を表示します。



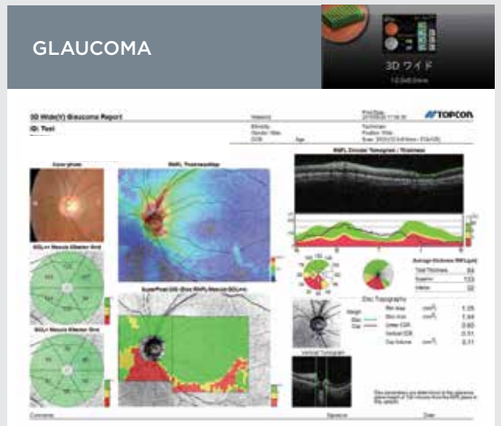
ラジアルスキャン

同一中心で放射状のスキャンを行います。12 方向の断層像が得られ、レポートに表示します。



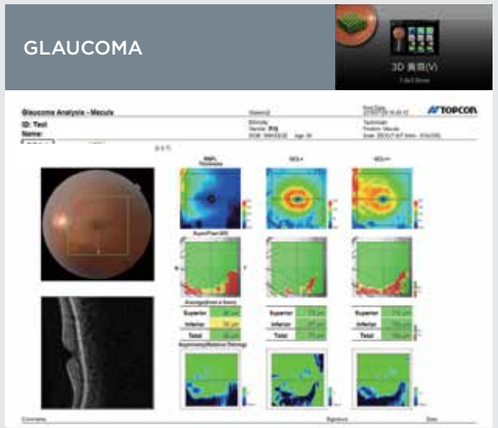
3D ワイド 12x9mm スキャン (3D Wide Standard レポート)

黄斑部から視神経乳頭部まで、広範囲が 1 度の撮影で把握でき、スキャンにより得られる解析結果を、網膜厚マップ、GCL 厚マップ、RNFL 厚マップなどでレポートに表示します。



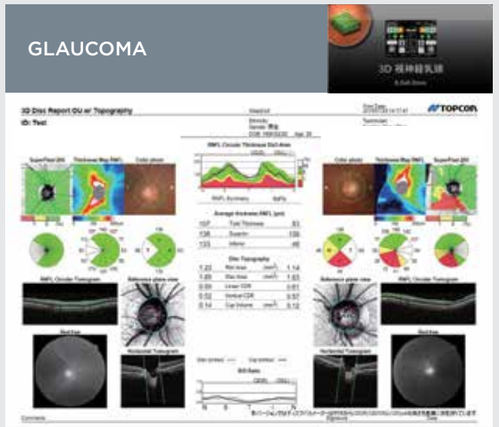
3D ワイド 12x9mm スキャン (3D Wide Glaucoma レポート)

3D ワイド スキャンにより得られる解析結果をまとめて表示するレポートです。眼底撮影画像、視神経乳頭部の形状解析結果、RNFL や GCL(GCL+,GCL++) の Thickness Map や Significance map、健常眼との比較結果などをレポートに表示します。



3D 黄斑（V）スキャン (黄斑部解析)

黄斑部エリアを垂直方向にスキャンし、RNFL 厚マップ、GCL 厚マップ (GCL+, GCL++)、網膜厚マップを表示し、健常眼データベースとの比較を行います。

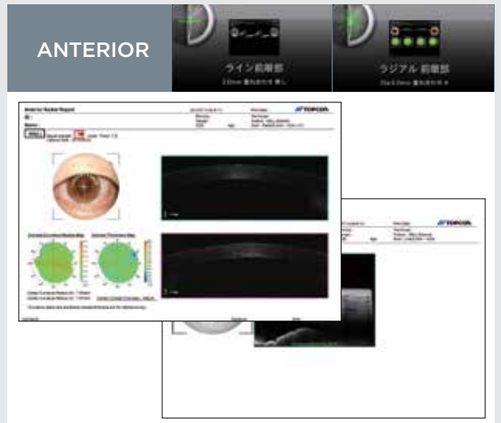


3D 視神経乳頭スキャン (視神経乳頭解析)

視神経乳頭エリアを水平方向にスキャンします。眼底画像、RNFL 厚マップや各種パラメータで視神経乳頭部の形状を解析し、健常眼データベースとの比較を行います。

OCT Angiography[*1*2]

表層、深層、外層、脈絡膜毛細血管板の 4 層を表示するレポートです。B-Scan 画像上に血流領域をカラー表示し眼底写真もレポートに表示できます。



ラジアル前眼部スキャン [*3]

角膜曲率半径マップ、角膜厚マップにより、角膜中心部の画像を表示できます。

ライン前眼部スキャン [*3]

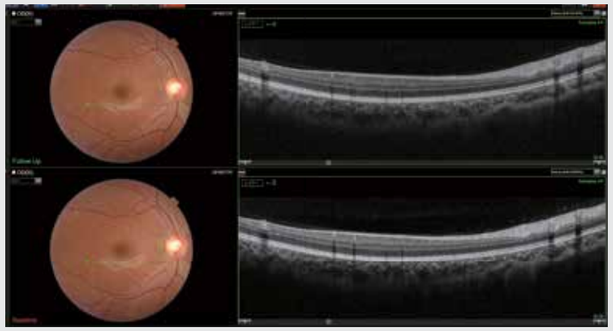
隅角の撮影に適したスキャンです。

*1 OCT Angiography 撮影機能は別売オプションです。
*2 画像提供 :Siamak ANSARI SHAHREZAEI MD, PD Director Karl Landsteiner Institute for Retinal Research and Imaging
*3 前眼部 / 前眼部断層像観察・撮影を行うには付属の前眼部用アタッチメントが必要です。

充実した経過観察サポート機能

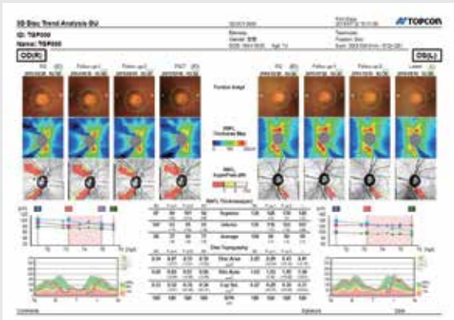
フォローアップ撮影

前回撮影した OCT 像と同じ位置を撮影することができます。経過観察において、日付の異なる撮影画像を並べて表示でき、過去と現在の同じ位置の OCT 像を比較・観察することができます。



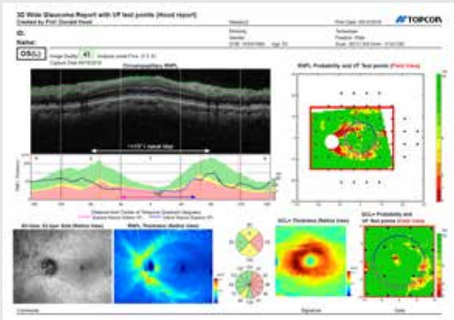
トレンドビュー

過去の撮影データを時系列に並べて、時間経過に伴う層厚の変化を観察することが可能です。結果画像エリアでは、撮影画像と解析結果を表示します。グラフ表示エリアには、過去から最新の撮影データの解析結果に基づく層の厚みを回帰直線で表示します。



3D Wide Glaucoma レポート (Hood レポート)

コロンビア大学 Dr. Donald Hood の監修を受けたトプコン独自のレポートです。視神経乳頭部の形状解析結果、Enface、RNFL や GCL+ の Thickness map に加え、視野計 (24-2 と 10-2) の検査点と RNFL 厚の相関などをレポートに表示します。



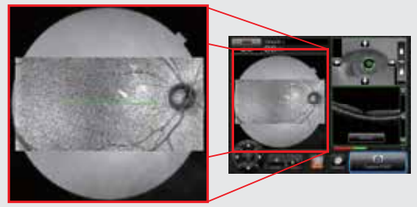
多彩な撮影機能・撮影アシスト機能

小瞳孔対応

Live Fundus View™（OCT-LFV 像）

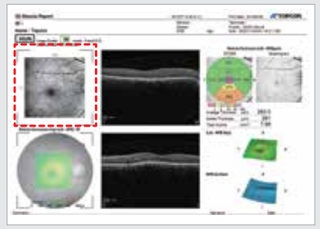
干渉信号から生成する OCT-LFV 像を表示することで、小瞳孔などの場合でも常に眼底像を確認でき、乳頭、血管、スキャン位置などを把握することができます。過去と現在の同じ位置の OCT 像を比較・観察することができます。

* 最小瞳孔径 2.5mm



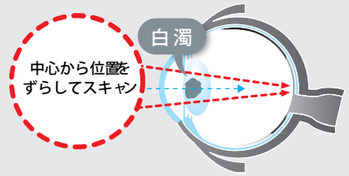
3D 撮影時の眼底撮影 ON/OFF

3D 撮影時でも眼底撮影機能を OFF にすることで、フラッシュによる縮瞳を抑えることができます。続けて異なるスキャンパターンで撮影する場合でも、スムーズに撮影することが可能です。



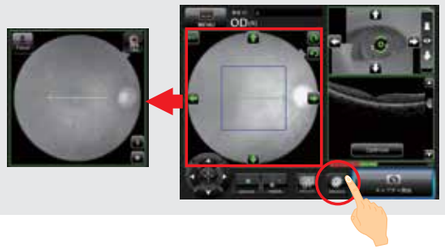
白内障モード

白内障など水晶体中心部に白濁がある場合、白内障モードに切り替えることで、中心から撮影位置をずらしてスキャンします。



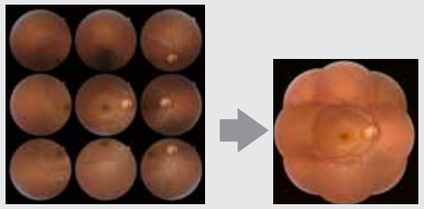
マニュアルモード

簡単操作のマニュアルモードを用意しています。被検眼によって、オート撮影が作動しない場合、マニュアル操作で撮影が可能です。タッチパネル上でアライメント調整、スキャン位置調整が行えます。



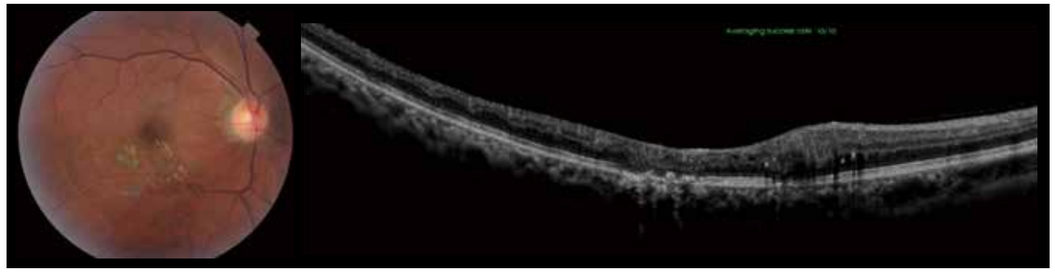
眼底周辺部撮影

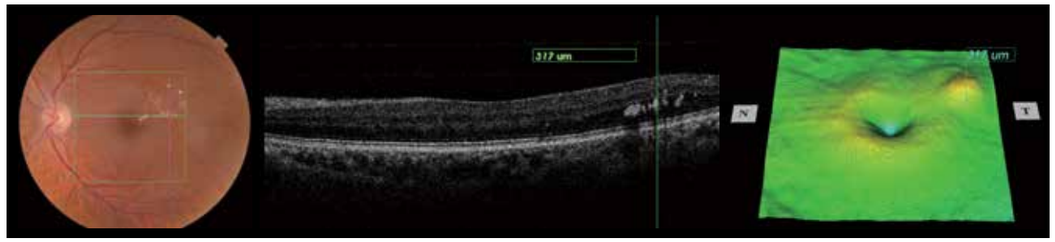
4 点 /8 点の内部固視灯を搭載しており、広範囲の眼底撮影が可能です。パノラマソフトを併用することで、撮影した複数枚の眼底画像から広範囲の眼底画像を合成することもできます。

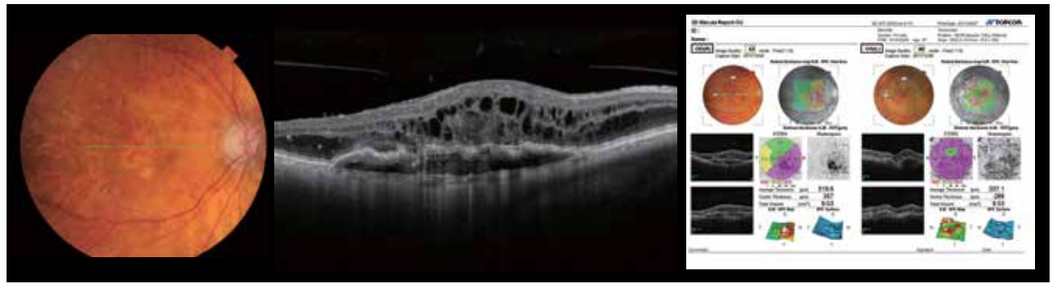


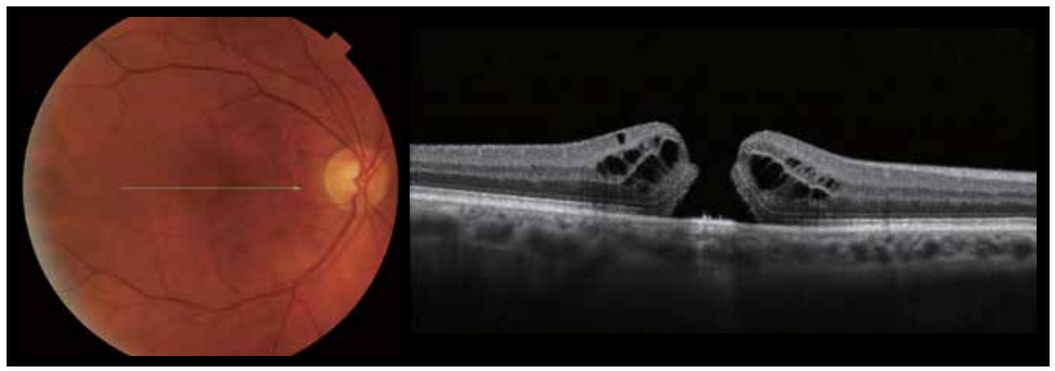
明瞭な OCT ＆カラー眼底像

50,000 A-scans/ 秒のスキャンで、明瞭な B-scan 画像を撮影できます。 網膜層の確認が、3D 画像でも、B-scan 画像でも行えます。
さらにカラー眼底撮影機能を搭載しているため、OCT と同時に眼底画像も取得することが可能です。





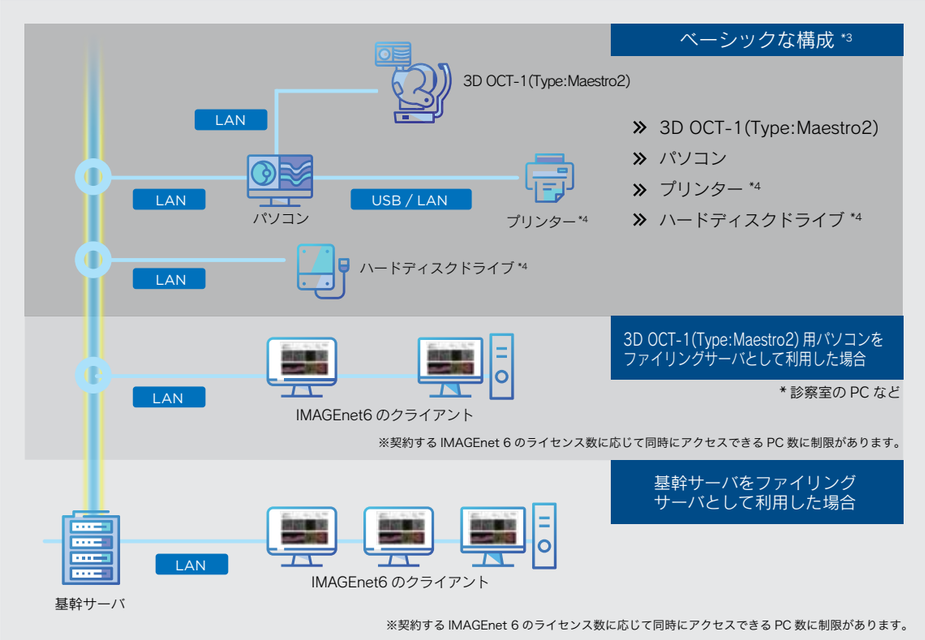




画像提供 : Ophthalmology Department. Manchester Royal Eye Hospital. U.K.

もっとシンプルでもっと繋がるネットワーク

IMAGEnet 6[*1] との連携により、他の画像データや検査データとのシームレスなシステム運用が可能です。
また、他社システムとの併用や、効率的でシンプルな運用も可能で、フレキシブルなネットワーク構築に対応しています [*2]。



*1 IMAGEnet 6は別売品です。
販売名：眼科データ管理システム IMAGEnet 6　医療機器認証番号：227AABZX00081000

*2 ネットワークに関する詳しい情報は販売会社までお問い合わせ下さい。
*3 構成品の詳細： 3D OCT-1(Type:Maestro2)本体、パソコン、解析用ソフトウェア、絶縁トランス
*4 プリンター、ハードディスクドライブは市販品です。

フレキシブルな設置レイアウト

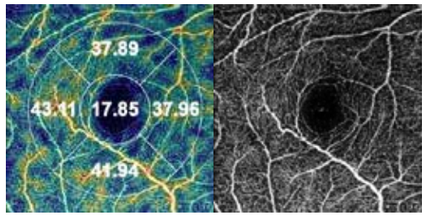
360°可動式のタッチパネル搭載により、検者は患者の背面や側面から操作することができます。また、壁際への設置や小さいテーブルへの設置など、施設に応じたレイアウトが可能です。

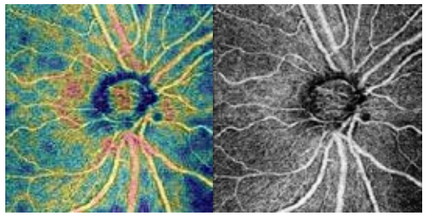
OCT-Angiography[*1] 撮影

Type: Maestro2 では OCT-Angiography 撮影機能を搭載しています。スキャン範囲は 3 x 3 mm、4.5 x 4.5 mm、6 x 6 mm から選択可能で、黄斑部と視神経乳頭部を中心として撮影した解析結果を PC 画面やレポートとして表示することができます。

Density Map

黄斑部や放射状乳頭周囲血管 (RPC) の Density Map を表示できます。
Angiography 画像における輝度値平均をカラー表示し、黄斑部では ETDRS サークル内の輝度値を数値 (%) で表示します。





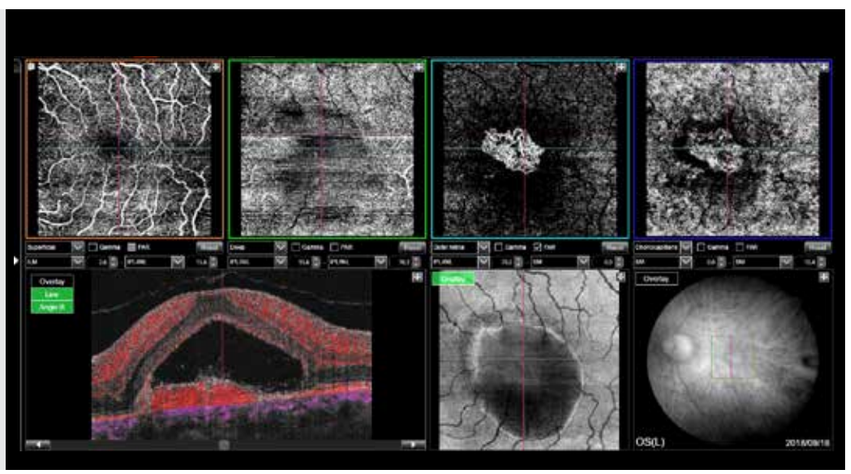
独自のトラッキングシステム

トプコン独自のトラッキングシステム SMARTTrack ™により、撮影中に被検眼が一定範囲動いても、自動的に追尾し指定した断層像の位置を撮影します。

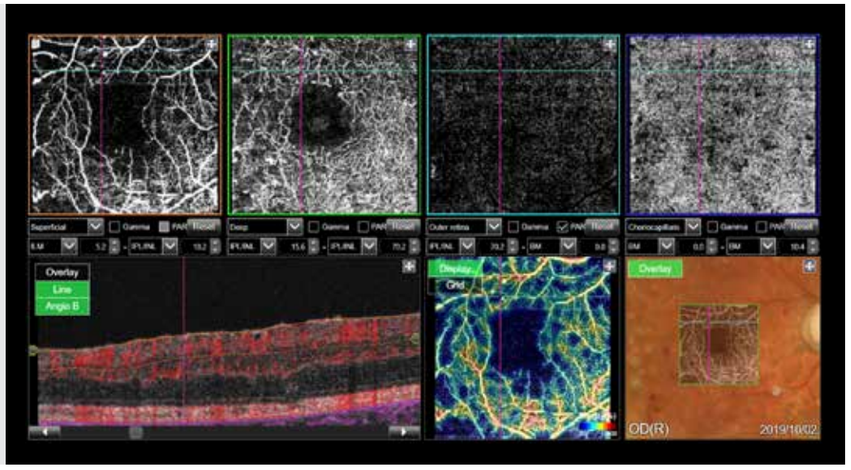
*1 OCT Angiography 撮影機能は別売オプションです。

OCT Angiography

Choroidal Neovascularization (CNV)[*1]



Diabetic Retinopathy[*2]



*1 Prof. Siamak Ansari Shahrezaei, MD PhD (Karl Landsteiner Institute for Retinal Research and Imaging)
*2 Miho Nozaki, MD, PhD (Nagoya City University Hospital)

仕様

眼底観察・撮影	
撮影種類	カラー、レッドフリー*
撮影画角	45°／ 30°相当（デジタルズーム）
作動距離	34.8mm (眼底撮影時)
撮影可能瞳孔径	通常時：φ4.0mm以上 小瞳孔径時：φ3.3mm以上
眼底断層像観察・撮影	
スキャン範囲（眼底上）	横方向 ：3〜12 mm　　縦方向 ：3〜9 mm
スキャンパターン	3Dスキャン(水平／垂直) 直線状スキャン（Line-scan／Cross-scan／Radial-scan）
スキャンスピード	50,000 A-Scans/秒
横方向分解能	20μm以下
深さ方向分解能	6μm以下
撮影可能瞳孔径	φ2.5mm 以上
眼底観察・撮影／眼底断層像観察・撮影	
固視標	内部固視標：ドットマトリクスタイプ有機EL/提示位置切換・調整、提示方法変更可能 周辺部固視標：内部固視標提示位置に連動し提示 外部固視標
前眼部観察・撮影 ***	
撮影種類	カラー、IR**
作動距離	62.6mm (前眼部撮影時)
前眼部断層像観察・撮影 ***	
作動距離	62.6mm(前眼部撮影時)***
スキャン範囲（角膜上）	横方向 ：3〜6 mm　　縦方向 ：3〜6 mm
スキャンパターン	直線状スキャン（Line-scan／Radial-scan）
スキャンスピード	50,000 A-Scans/秒
固視標	外部固視標
電気的定格	
電源電圧・周波数	AC 100V　50-60Hz
電源入力	70-150VA
寸法・質量	
寸法	340~480mm(W) x 543~680mm(D) x 530~735mm(H)
質量	25kg

* カラー画像を処理し擬似的にレッドフリー表示をするデジタルレッドフリー
**断層像撮影位置記録のみを目的に用いる
***前眼部/前眼部断層像観察・撮影を行うには付属の前眼部用アタッチメントが必要です

別売付属品

外部固視標

クラス1のレーザ製品
(IEC60825-1:2007)

販売名：3次元眼底像撮影装置 3D OCT-1
医療機器認証番号：224AABZX00151000
※「(Type:Maestro2)」は「3次元眼底像撮影装置　3D OCT-1」のカタログ記号です。
※画面はハメコミ合成です。
※カタログと実際の商品の色とは、撮影・印刷の関係で多少異なる場合があります。
※カタログ掲載商品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更されることがあります。

注 意　正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読み下さい。

EC97J1081

株式会社トプコンメディカルジャパン　ホームページ　https://topconhealthcare.co.jp

本　　社	〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1	TEL.(03)5915-1800	FAX.(03)5915-1805
ICT事業推進部	〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1	TEL.(03)5915-1804	FAX.(03)5915-1805
カスタマーサポート部	〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1	TEL.(03)5915-1621	FAX.(03)5915-1805
東京営業所	〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1	TEL.(03)6867-0123	FAX.(03)6867-0124
札幌営業所	〒064-0807 北海道札幌市中央区南7条西1-21-1第3弘安ビル6F	TEL.(011)520-2150	FAX.(011)520-2151
仙台営業所	〒980-0804 仙台市青葉区大町1-3-2　仙台MDビル1階	TEL.(022)722-0637	FAX.(022)722-0638
横浜営業所	〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央11-3ウェルネスセンタープラザ南ビル101号室	TEL.(045)949-3600	FAX.(045)949-3604
名古屋営業所	〒461-0005 名古屋市東区東桜2-9-1高岳セントラルビルディング2階	TEL.(052)934-0761	FAX.(052)934-0762
大阪営業所	〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-5-15進徳第六ビル2階	TEL.(06)7659-2904	FAX.(06)7659-2906
広島営業所	〒733-0013 広島市西区横川新町8-22(ランドマーク横川)	TEL.(082)294-8971	FAX.(082)294-8994
松山営業所	〒791-1105 松山市北井門2-12-7(エシャンジュル松山103)	TEL.(089)969-1427	FAX.(089)969-1428
福岡営業所	〒812-0042 福岡市博多区豊1丁目10-50 MR博多ビル	TEL.(092)483-3751	FAX.(092)483-3753

製造販売 株式会社トプコン　ホームページ https://topconhealthcare.jp/ja/
本社・アイケア事業本部　〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1　TEL. (03)3558-2506

© 株式会社トプコン

M000026J-4